

図1. (a) スミスカルデラ周辺で繰り返す地震活動. 1984年・1996年・2006年・2015年・2018年については Global CMT catalog の情報に基づく. 2024年の地震については, CMT 解については防災科学技術研究所の解析結果, モーメントマグニチュードについては米国地質調査所の W-phase の解析解に基づく. なお震源位置には数 km~10km 程度の誤差が含まれることに留意. (b) 2015年のスミスカルデラ地震に対して提案された「トラップドア断層破壊による海底カルデラ隆起」仮説の模式図(Sandanbata et al. (2022, JGR: Solid Earth) の図を修正).

— 2024年9月24日地震の津波波形 — 2015年5月2日地震の津波波形

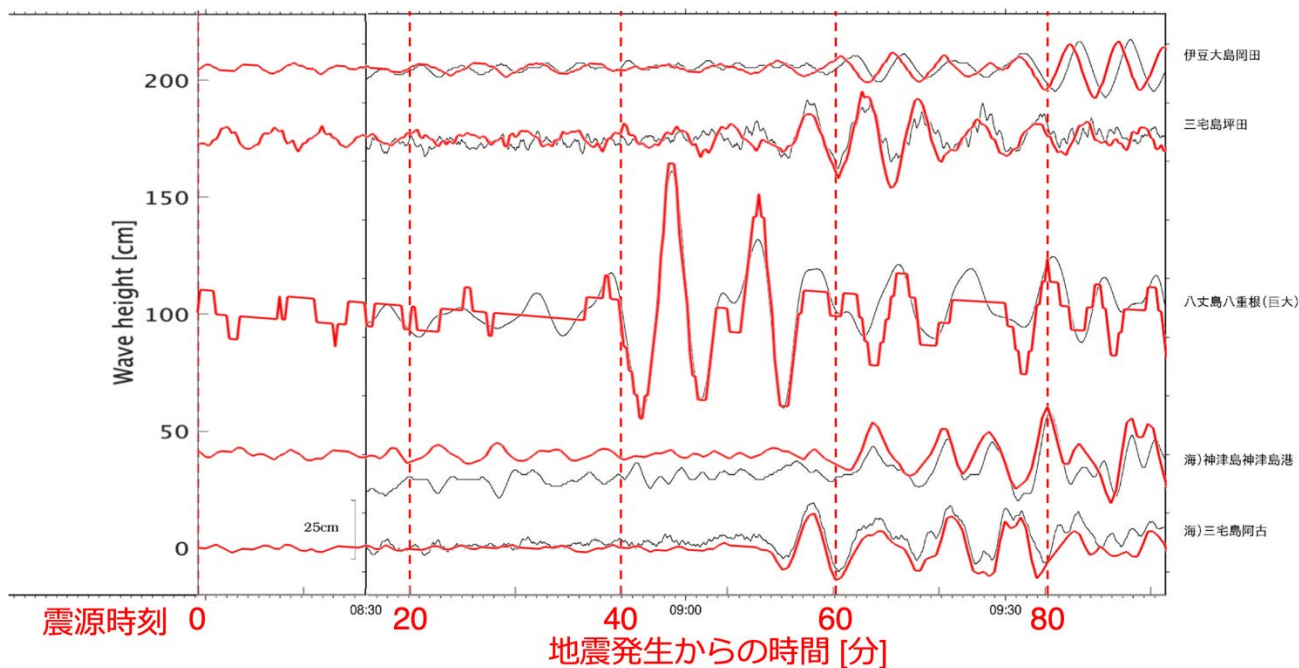


図2. 今回 2024年9月24日の M5.8 地震による津波波形(黒線:気象庁資料より)と2015年5月3日 M5.9 地震による津波波形(赤)を重ねた比較図. 震源時刻に1分以下の誤差が含まれること, 振幅は厳密な比較ではないことに留意. 地震の発生時刻に対する走時, 波形および規模がおおよそ両地震で一致しており, 同様のメカニズムで津波が発生したことを示唆する.